

2月29日（木）図書・漢字・クラブ

図書委員会から放送がありました。給食中です。本の返却期間のお知らせだったのですが、最後に扇っ子にメッセージを伝えてくれました。本に支えられたこと、楽しい六年間だったこと、友や師にも感謝していること、本を大事にしてもらいたいこと、さらに、本が好きな人は図書委員会に入ってほしいと。とっても感動的な放送でした。放送室を出ると、職員室にいた職員は大きな拍手を送りました。詳しくはHP「放送室」を参照して下さい。



六年生が「クラス対抗の漢字大会」を計画しています。階段には、練習用の用紙が置いてあります。「200枚突破」、「400枚突破」の掲示を見たのですが、本日は「ついに1000枚突破！」が伝えられました。一人が十枚近くこの用紙を持ち帰って練習していることになります。子供たちは（大人も）何か目標があれば必ず努力します。想像以上の力を発揮します。このような場を設定してあげるのが、我々大人の役割だと思います。



大谷選手から届いたグローブは、各クラスを回っています。運動委員会の呼びかけで、一週目は教室内で扱うことになっています。手に取って見ることはもちろん、写真を撮ったり、手紙を書いたり、それぞれのクラスで触れることになっています。二年生の教室では、手に取って記念撮影を行っていました。「はめ方が分からなかった」「お父さんに教えよう」「以外と軽いね」などの感想を聞かせてもらいました。



2月28日（水）式・賞状・お菓子

卒業証書授与式の練習が始まりました。私は六年生に「会」と「式」の違いについて話しました。「式」の重さをしっかり感じて、最高の姿を見せてもらいたいと伝えました。児童代表の子は「みんながやり切ったと思える式にするために、一日一日の練習をしっかりやりましょう」



と、六年生に向けて語ってくれました。すでに、日々の教室での授業でも、式に向けた練習は始まっています。

賞状伝達朝会を行いました。選挙ポスター、読書感想文、図工展、書写展で優秀な成績を収め、学校に賞状が届いた子を紹介しました。各教室では、名前を呼ばれた子が誇らしげに返事をして起立しました。クラスによっては、そのたびに拍手が起こっていました。代表数名には、その後、校長室にて私から賞状を授与しました。張り切って取り組み、それが学校外でも認められた証。来年もさらに多くの賞状が届くことを期待したいです。

四年生が食育の学習に取り組みました。いくつかのお菓子の中から1つをグループで選んでいる場面では、「じゃがりこ」が一番人気でした。その選んだカードの裏にはカロリーなどが書いてあります。それを見て、驚く子もいました。三年生の授業も見ましたが、お菓子は子供たちにとって大切な栄養にもなります。そのとり方を考え、主体的に食べられるようにするのが、授業のねらいです。



2月27日（火）送る会・贈り物・仕上げ

六年生を送る会は素晴らしい会になりました。おうぎ学級から始まった出し物は、どの学年もすばらしかったです。六年生のためにがんばって練習してきたことが伝わってきました。それぞれの学年で、工夫した演出で六年生にメッセージを伝えていたところも感動的でした。代表の子が話したり、パネルを使って伝えたり、替え歌にしたりと、驚きもありました。会を進行してくれた五年生からは、頼もしさを感じました。参観下さった来賓の方々も「感動した」ことを話して下さいました。

送る会では、最後に六年生の合唱がありました。全校の扇っ子の前で歌うのは、これが最後になります。すばらしい歌声に、私の近くにいた一年生や四年生も体をまったく動かさずに聴き入っていました。その六年生からは、扇っ子にもう一つのプレゼントがありました。雑巾です。



「扇小をきれいにして下さい」と、代表の子に渡されました。家庭科で一生懸命作っていた姿を思い出しました。最高学年からの最高のプレゼント。みんなで大事にしたいです。

送る会が始まる前、一時間目や学級の時間では、最後の練習をしているクラスや学年がありました。歌声やセリフの練習が、巡回していると色々な教室から聞こえてきました。音楽や先生の声も聞こえてきました。「最後の仕上げ」に熱が入っていることが伝わってきました。最後の最後まで、少しでも良いパフォーマンスをしようとする子供と先生の熱を感じた時間でした。良い会になることは、この時間に確信していました。



2月26日（月）卒業・箱・仮編成

六年生にとっては卒業式を本格的に意識した一日だったと思います。各クラスでは、卒業式の呼びかけの担当を決めたり、卒業式の心構えや所作を確認したり、呼名での返事の練習をしたりしていました。体育館で行う卒業式。一人だけで返事をする場面があります。張り切って、最高の、六年間で成長した姿を示すような、「はい！」を聞きたいものです。

たまたまでしょうが、箱を使った授業を2つの学年が始めました。四年生は直方体・立方体の学習。二年生は、箱の形の学習。どちらも算数です。算数の学習では様々なことを抽象化していくことが重要となります。持ち寄った箱の色や文字、臭いや紙の堅さなどに注目してしまうと、形の学習には入っていきません。しかし、箱が登場すると中に入っていたお菓子や箱に書かれている写真や絵にどうしても目が行ってしまうもの。具体物と学習の教材にするのは、簡単なことではないのです。

通学班の仮編成を行いました。地区委員の方にはたいへんお世話になりました。明日から新しい通学班での登校となります。全体的に登校してくる時刻が早くなって



いるので、現在よりも **5分遅く集合**することを確認しました。また、これまで安全に登校できたことに貢献してくれた**班長さんへの感謝**の気持ちも伝えました。三、四年生の中には「明日から班長になる」「副班長になった」と誇らしげに教えてくれる子がたくさんいました。



2月25日（日） 49日

冷たい雨が降り続く中で、身内の49日を行いました。無事に天国に見送らせてもらえて、さみしさと安堵の気持ちがかみ上げてきました。最後の最後までしっかりと見送ることは、日本の**伝統文化**でもあり、人としての大事な**生き方**なのでしょう。



2月24日（土） 研修会

午後、埼玉大学附属小学校において算数研修会の研究発表会がありました。各分科会に分かれて、県内の研修サークルが一年間の**成果と課題**を発表し協議を行いました。埼玉県内には、子供のためによりよい実践をするために学んでいる者がたくさんいます。これは**誇り**です。共に学んでたくさんの**刺激**をいただきました。



2月23日（金） 不祥事・算数

先日、新聞に埼玉県の教職員処分の記事がでました。あってはならないことです。そして、自分事として受けとめないと行けないと考えます。昨日も本校では、この記事や体罰調査の声を資料に不祥事防止の研修を行いました。すべての教育活動において「**子供のためか**」「**クラスのためか**」「**人間関係は構築されているか**」が根底にあることを確認しました。このような記事を見ることがなくなることを、まずは自分の学校から実践していきたいです。

昨日までに実施することになっていた令和5年度第三



回算数チャレンジの解答用紙が集まってきました。本日は○付け。前回までに比べて「全問正解」「合格」の子が増えました。嬉しいことです。ここからが本当の勝負。間違えた問題は最後までやり切らせます。



2月22日（木）九九・一本松・送る会

本日も、休み時間の度に二年生が校長室にやってきました。九九検定です。ペアで来ることになっているので、すでに合格した子は付き添い、隣で（心の中で）応援です。一度検定にやってきて不合格だった子は、ただ暗唱していたのではダメだと気づきます。教室では先生が作ってくれた問題に取り組んでいる子がいました。次々に画面に出てくる九九の答えをぱっと言えるように練習していました。がんばれ、二年生。



五年生が道徳で奇跡の一本松の話で学んでいました。津波が来ることを告げた時の気持ちを問われた子は、次のように発表しました。「津波が来ることをみんなに伝えたい」「まだみんなと過ごしたい」「津波に負けてほしくない」など。東日本大震災。忘れてはならない地震です。教材を通して、命の大切さや災害に負けない気持ち、災害に備える知恵などなどを学習してくれたと思います。

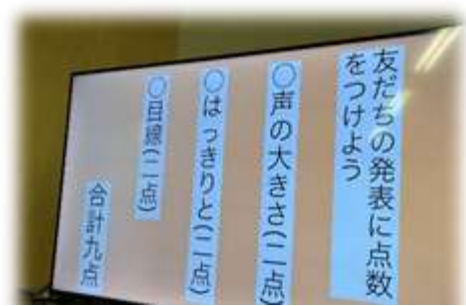


最後の委員会活動の日。六年生は一年間の反省と次への引き継ぎ準備をしていました。体育館に行ってみると、五年生が中心になって、六年生を送る会の練習をしていました。会の進行の練習です。台詞をしっかりと言えるか、どこにいたらよいのか、音楽を流すタイミングは？などなどを担当と確認していました。四年生の子は、ステージに掲げるメッセージや会の横断幕を掲示していました。素敵な会になると思います。楽しみです。



2月21日（水）九九・成長・溶けるか

二年生の九九検定もだんだんと熱気を帯びてきました。



合格者が出る度に、見ている子が大喜びをしています。授業前、おもしろい場面がありました。画面に映し出された点数を見て「**おかしい**」と先生に訴えた子がいます。「**2点**が3つだと6点。合計9点なら、一つは**3点**だ」と言うのです。 2×3 が6。 $3 \times 3 = 9$ 。九九が定着したことで、表示の**数を見る目**が変わりました。これぞ成長です。

一年生が、入学してからできるようになったことを、思う存分見てもらいました。**スピーチ**、合唱、**けん玉**、あやとり、**音読**、計算、**コマ回し**、**鍵盤ハーモニカ**などなど、様々な活動を保護者の方に見てもらっていました。スピーチでは「**マラソン**の練習をして10位に入るようになりました」「**鍵盤ハーモニカ**が上手にひけるようになって、とっても嬉しいです」「**コマ回し**ができるようになりました」などなど、力強く発表する姿には、感激しました。

六年生の理科では、「**ミョウバン**は溶けるか」の討論がありました。「溶ける」派の主張は、「**よく振れば溶ける**」「**あたためればいい**」「**塩も溶けた**」など。「溶けない」派の意見は、「**飽和状態**だから」「**濾過**しても隙間がない」「もう入らない」など。途中で考えを変える子もいましたが、自分なりの**科学的仮説**をしっかりと発表できる子がたくさん育っています。



2月20日（火）感謝・取材・テスト

四年生が保護者に向けて、将来の夢や家族への感謝の気持ちを伝えました。十歳の四年生、**二分の一成人式**の一環です。家族への感謝発表では、涙なしでは聞けないような内容が続きました。「お金を貯めたら、世界中のディズニーランドに**連れて行ってあげる**ね」「お母さんも、たまには息抜きしてね。**一緒に買い物行こう**ね」「遠足で作ってくれたお弁当は**最高だったよ**」などなど。親への感謝の気持ちが大きい子ほど、**目標に向かってがんばる**ことができるということがあります。嬉しい姿を見せてもらいました。



三年生が、四月に**入学する一年生のために**取材をしています。**安心**してもらいたい、学校の**自慢**を知ってもらいたいと教えてくれました。その取材の一環で、一年生に**インタビュー**をしていました。「学校の校庭、広くてうれしいですか」と。一年生の子も的確に答えていました。「**たくさん遊べて嬉しい、体育でたくさん動けて楽しい**」と。この言葉を、来る入学生に伝えてあげてほしいです。



一年生の教室で、テストが返されました。そこで嬉しい姿を見ました。**間違えた問題**があった子は、直ぐに**友達に聞いている**のです。そして、聞かれた子も**やさしく教えて**います。答えを見せるのではなく、**やり方・考え方を**教えているのです。互いに高まる、すばらしい姿です。最も記憶に残る学習活動は、誰かに教えることと言われていきます。本校で指導を続けている「**分からなかったら友達に聞く**」を、一年生でも体現してくれています。



2月19日（月）今・無言・SDG's

六年生が国語でまとめた「**今、私は、ぼくは**」を保護者に向けて発信しました。自分の**夢**や小学校生活で**身につけたこと**、**思い出**などを熱く語っていました。あるクラスでは自分の親や友達への**感謝を語る**際に涙が止まらなくなった子が続出し、大幅に時間をオーバーするほどでした。「いつもは素直に言えないけど、とても**感謝**しています」「将来は、**お母さんの好きなことを**たくさんさせてあげたい」「**父に〇〇を教えてもらった**おかげで、自分の夢ができました」などなど。たくさん涙をもらってしまいました。



職員室の前を掃除してくれているのは四年生です。最近、六年生との会談や二年生の九九検定で校長室にいる時間が増えました。**掃除中の様子**を見ることもめっきり減ってしまいました。この日は久しぶりに、掃除中、校長室を出ました。**黙って**取り組んでいる四年生。**自然体**で活



動しています。誰もしゃべっていません。特別なことを毎日していると、当たり前になり、習慣になることを、今日の姿が教えてくれました。

五年生はSDGsについて調べたこと、考えたこと、これから取り組むこと、聴いている人へのメッセージを発信していました。グループごとの発表で、とても楽しそうでしたが、ある子が一人で行っていました。PC画面には、台本があり、五人が代わる代わる話すことになっています。ジェンダーフリーについて発信したこのグループでは、一人を除いて皆が欠席してしまったようです。一人でも立派に発表したこの子に、この日のMVPをあげたいです。よくがんばりました。



2月18日（日）研修

写真は、昨日のもの。扇FCが練習試合していた様子です。本日も暖かい日になりました。春の訪れを感じます。夕方より、以前一緒に勤めた者の通夜に行きました。同業者として、心が痛みました。児童や同僚からの手紙、ご家族からのメッセージが展示されていました。私も退職まであと数年となりました。健康第一で職務にあたりたいと改めて痛感しました。



2月17日（土）研修

昨日は早めに学校を出て出張でした。本日学校に来ると、職員室の廊下に校内研修の成果が貼ってありました。本年度は算数を中心に、各職員の主体性を生かした研修を行ってきました。課題設定、授業構成、発問、対応の4つのテーマで研修してきたことがまとめられていました。「可視化できない成果はない」と私は常々考えています。この掲示物を見て、確実な成果を見てとれました。



2月16日（金）贈る歌・演奏・師弟で

二年生がタブレットを見ながら歌の自主練習をしていました。画面を見ると、「手のひらを太陽に」の替え歌、六年生に向けて贈る歌のようです。それぞれの子が、それぞれのペースで歌ったり歌詞を覚えたりしています。とっても良い雰囲気。お世話になった大好きな六年生のためにより合唱にしたいという気持ちが伝わってきました。

同じように、それぞれがタブレットの画面を見ながら、三年生はリコーダーの練習をしていました。話しかけられなかったのですが、これも六年生を送る会で贈る曲なのかもしれません。あまりにも一所懸命練習していたので、「上手だね」とだけ声をかけると、ある子が「合格したんだよ」とだけ答えてくれました。この演奏、きっとどこかで披露されるのでしょうか。その時を楽しみにしています。

六年生の算数は、小学校のまとめになりました。この日も活発に学び合い、多くの問題を解いていました。珍しく先生を囲んで学び合っている子が数人いました。「直接指導されている」ように見えたので、「お説教を受けているのですか」と冗談で聞いてみました。「お説教ではありません、先生と勉強をしているのです」と、笑顔で答えてもらい、安心しました。先生も一緒に考える、師弟同行です。小学校の勉強ができるのも、あと二十日あまりとなりました。



2月15日（木）九九・招待・字

二年生を対象に、校長室で実施している九九検定で合格者が出ました。九九の暗唱は、小学校の算数では最高級に大事な学習です。なぜなら、今後の学習においてずっと使っていくからです。今週から初めて検定ですが、一人合格者が出ると波及していきます。本日だけで十人以上の合格者が出ました。休み時間の度に、二人一組で校長室に



やってくる挑戦者。今年度中には「**全員合格**」を伝えたいと願っています。

三年生が配布された**列車に色を塗っています**。ある子が六年生を送る会の招待状だと教えてくれました。色を塗るだけですが、それぞれが**自分の思い**を込めて作業しています。テーマがあるようで「**ドクターイエロー号**」「**エクスプレス23**」「**特急号**」「**虹色列車**」「**ハリーポッター**」などなどのコンセプトを聞き出すことができました。**六年生が喜んで**この招待状をもらう、その場面を思い浮かべると、**楽しい気持ち**になりました。

一年生の教室に、**初めて書いた自分の名前**と今書いたものが並んでいる用紙が掲示されました。どの用紙を見ても、**成長**が伝わってきます。「こんなに**上手**になったのか」「本当にこの子が書いたのか」という**驚き**があります。一年間での成長、昨日のワークでも感激しましたが、字だけ見ても明らかです。成長の「**見える化**」「**実感**」がこの用紙だけからも分かると思います。



2月14日（水）感謝・季節・成長

ボランティア感謝の会を行いました。インフルエンザ等感染の関係で、多くの学年がオンライン参加となってしまいましたが、感謝の気持ちは伝わったと思います。手紙を渡し、代表の子があいさつをしました。「**僕たちのために時間を割いてくれてありがとうございます。おかげで楽しく学校で活動できます**」と述べてくれました。体育館で参加できた子で「花」の合唱をプレゼントしました。会が終わって、ボランティアの方に感想を聞くと「**すばらしい**」「**乱れない姿に感動した**」「**子供に進行してもらってうれしかった**」と、喜んでくださいました。

五年生が好きな季節のやりとりを英語で行っていました。一人が**英語**で「どの季節が好きですか」と聴きます。もう一人は「**〇〇が好きです。理由は・・・**」と英語で言います。私は聴いていて、季節までは理解できましたが、



理由はほとんど分かりませんでした。PCで絵を見せてくれた子もいますが、**??の状況**でした。近くの子に聴いてみると「**桜が好き**と言ってた」「**紅葉が好き**だと言ってた」と教えてくれました。**子供たちは分かっている**ようです。英語の勉強をしておかないと、会話ができなくなる日がくるかもしれないと、少し焦ってしまいました。

一年生が書いていたワークを見せてもらいました。「**一年生になってできるようになったこと**」がたくさん書いてあります。ある子のワークには、**歌**がきれいに歌えるようになった、**ドッチボール**ができるようになった、**コツコツカード**で**けいさん**ができるようになった、**かんじ80字**をぜんぶおぼえた、**竹うま**ができるようになった、などが書いてあります。一人で7つほどの記述があり、呼んでいて感動してしまいました。一年間の**成長は、著しい**です。



2月13日（火）円周・一年前・ジャンプ

五年生が円周の長さを測っていました。算数です。円の物を見つけて、その**周りの長さ**を測ります。**紙テープ**で一周させてそのテープの長さを測ったり、円柱の物の周りを**定規**を使って測ったりと、それぞれに工夫をしていました。おもしろかったのは、**円柱のカン**を見つけて、その**形を変えて**いた子です。形が変わっても、長さは変わりません。量の**保存性**を利用して、測りやすい形にしていたのです。



一年生が、四月に入学してくる子のために何か作っていました。お皿に「**にゅうがくおめでとう**」と書いています。ある子が「**なんて書くんだった**」と近くの子に聞いていました。すると「**この前、もらったじゃん**」と答えています。

「この前」とは、今年度の**四月**のこと。自分たちが入学後にももらったことを覚えている子がいました。時が経ち、今度は自分たちが**後輩を迎える日**が近づいているのです。



二年生が生活科で自分の成長を発表していました。「明日へジャンプ」です。ある子のプレゼンでは、**成長したこ**

とベスト3を発表し、その後いくつかのクイズを出しました。ベスト3は「あいさつ」「九九」「なわとび」でした。それに関するクイズは、それとはあまり関係ないクイズがありましたが、PCの機能を巧みに利用したものであったので、聴いてる子たちも食いついていました。



2月12日（月）校庭

雪が降った後、本校に長い職員が異口同音に言っていました。「しばらく体育はできない」「もしかしたら3月まで外は使用できない」と。扇小の校庭の水はけはとても悪いのだと、実感している職員が教えてくれました。「よほど良い天気が続かないと、しばらく使えませんか」と報告してくれた職員もいます。その「よほど」が訪れました。本日は、朝日スターズが練習をしていました。また校庭に元気な声が響くことになりそうです。



2月11日（日）さやけく

近所を歩いていると、今上陛下が令和2年歌会始でお書きになった作品が掲示されているのに気づきました。

学舎に ひびかふ子らの 弾む声
さやけくあれと ひたすら望む

子供たちの未来が「さやけく」(明るく清らかで)あれと、望む気持ちは、我々教職員も、保護者・地域の方々も、いや、すべての大人の思いなのだとかみしめました。



2月10日（土）梅

学校に来ると、二つのことに気づきました。まずは、校庭に誰も来ないこと。雪の影響でまだ校庭は使える状態ではないのです。そしてもう一つは「梅」です。紅白の梅の花が咲き始めています。まだまだ寒さが残る中、他の花がまだ咲かない頃に、どの花よりもいち早く花を咲かせ



て、春が来たことを教えてくれる花。他の花が「春はまだかな？」と迷っている時に、自分は咲くぞと元気に咲くのが梅なのです。そのことから、「梅の心」は、「**元気の心**」を表しています。「元気の心」で仕事をしました。

2月 9日（金）立候補・雑巾・演奏

一年生の教室に行くとき、数名が前に出て、ある**台詞**を言っていました。**一人ずつ**言っていくのを見て、思い当たりました。**六年生を送る会**の役割を決めているのです。一人で言う場面、誰がやるか、みんなで決めようという場面でした。誰がよかったか、誰にやってもらいたいか、全員が顔を伏せて**手を挙げ**ました。とっても接戦、僅差である子に決まったことを担任が告げると、選ばれた子も選んだ子も、**大喜び**をしていました。

六年生が学校で使ってもらうために雑巾を作りました。その**振り返り**をワークに書いていました。「使う人のことを考えて、**一つ一つていねいに仕上げた**」「**難しかった。洋服を作る人はすごいな**—と思った」「**ゆっくりやった方が上手にできることが分かった**」「**慎重にやった。友達と協力しながらよくできた**」などの文を見つけました。活動以上に、その**振り返り**が今後の活動の原動力になります。

音楽室に入ると、「せっかく校長先生が来てくれたので、一度やってみましょう」と、練習していた学校の**音合わせ**が始まりました。曲は「**愛は勝つ**」。私が若い頃によく聴きよく歌った曲。**イントロ**の演奏を聴くだけで感動してしまいました。ピアノ、オルガン、鉄琴・木琴で、あのイントロを演奏してくれて、単純に**感激**しました。完成したら、**多くの人に**聴いてもらいたいと心から思いました。

2月 8日（木）昔の生活・中学・長さ

三年生がアリットへ行き、昔の生活について学びました。昭和40年代の家庭の様子を見て、「あっ**ダイヤル**の



電話だ！」と驚く子がいました。また、「昔の家、住んでみたいな」と、話している子もいました。その隣の子は「住んでみたら、きっとたいへんさが分かるよ」と、返していました。ブラウン管テレビや、大きなラジオ、電球などなど、初めて見た子が多かったようです。

六年生が、向原中学校に体験入学しました。生徒から部活、生活、勉強、生徒会などなどの説明をしてもらいました。「2分前着席」「授業中は私語禁止」「水を飲んでいいのは体育の授業だけ」「物の貸し借りはしない」「遅刻したら先生に言う」「登下校時は地域の人にあいさつする」などなど。ある子は休憩時間「長かったー。50分は長い」と言っていました。「中学校の授業は毎日50分だよ」と私が言うと「えっ、一日！？毎日50分、どんだけ勉強するんですか」と、驚いていました。

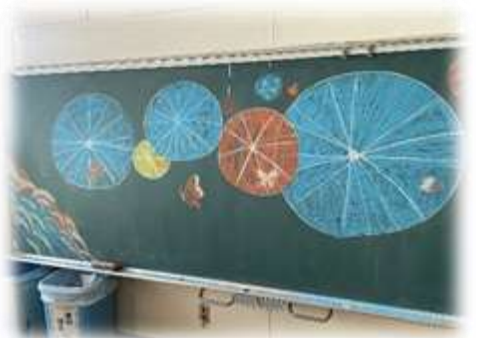
二年生の算数で、身近にあるものの長さを測りました。1mを超える物を測ります。教室の横、黒板の横、廊下の幅などなどです。測る前に予想を書いていたが、1m～9mまで、様々な予想が出ました。毎日歩いている廊下。まだ「1m」の量感が育っていないのか「幅」の意味を分かっていないのか。いずれにしても、活動を重ねてこれらの課題を克服していきます。



2月 7日 (水) インスタ・ICT・給食

しばらく外遊びができない日が続きそうです。元気っ子タイム、ある教室に入ると、黒板に絵が描いてありました。聞くと「インスタ映え写真コンテスト」を行うのだそうです。この絵を背景に写真を撮ったり、雪山や校舎、掲示物を撮ったりしています。撮った写真を応募して、大賞を係の子が決めるレクだと分かりました。みんな楽しそうに、室内遊びをしている、タブレットもその役割を果たしている、素敵な取り組みだと思いました。

タブレットの有効活用場面が、もう一つあります。校長室前の廊下から声が聞こえてきたので行ってみると、タ



タブレットに三人の子が話しかけています。ZOOMを使って離れた場所の子と何か話し合っています。家庭科でキレイにしたい場所を考えているのだそうです。便利な道具を使って、二カ所で活動を進めるこのグループがどんな結論を出したのかは分かりませんが、活発な話し合いが行われていたことは確かです。

欠席が多かったこの日、給食が気になり教室に行ってみました。日々よく食べるクラスの一つに行ってみると先生が「かき揚げほしい人？」と聞いていました。十人ほどの手が挙がり、その人数を数えて、残っていた5つのかき揚げを、先生が切り始めました。欠席分5つのかき揚げを、12ほどに分けて、希望者に配っていました。「スープおかわりしたい人、どうぞ」と言うと、また十人ほどが並びました。欠席者がいても、残食をなくそうと、扇小の職員は日々取り組んでいます。



2月 6日 (火) 雪遊び・録音・鑑賞

二時間遅れで登校してきた子供たちが玄関で歓声をあげました。「雪遊びをする人は、朝の準備をしてから外に出ること」という貼り紙を見たからです。ある子からは「校長先生、ありがとうございます」とお礼を言われました。校庭にはたくさんの扇っ子が飛び出していき、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、走り回ったりと、幸せそうな表情で遊んでいました。先生たちの多くも、一緒に遊んで、髪や着ている物がびしょりになっていました。



おもしろい活動を見ました。タブレットに向かって歌っているのです。それぞれが自分のタブレットに向かって歌っています。自分の歌を録音しているようです。友達の声が入らないように、画面を近づけて大きな声で歌っています。録音したものを何に使うのかは分かりませんが、皆が楽しそうに、嬉しそうにタブレットに向かって歌っていました。



六年生が図工の平面作品の鑑賞をしていました。ある

子の作品に数人が集まっていて、「すごいでしょ」と声をかけてくれました。「絵の具をバシャーンでやった」「自由にやった」「紙を切ってパパッとやっていた」「芸術的」などなど、その子の絵の自慢が止まりません。確かにすばらしい絵です。それよりも、友達の作品をこれだけ誇りに思って伝えてくれる姿に感動してしまいました。



2月 5日 (月) 雪・食べ物・作文

予報通り、雪が降りました。給食を食べ終わる頃にはもう校庭は真っ白。朝の内に子供たちの下校を早めることを決めました。明日の2時間遅れも下校前に子供に伝えました。下校時、「校庭に入りません！」という職員の声が何度も職員室に聞こえてきました。校庭に入りたい、雪の上を歩きたい気持ちは、本当によく分かります。雪で遊ぶのは、明日にとっておきましょう。



四年生の英語では、好きな食べ物を伝え合っていました。絵を見せて英語で話すという活動です。どうしてもこの絵に目が行ってしまいました。ピザやお寿司、パフェ、フライドチキン、ジュースなどなどの絵が、とってもおいしそうに描かれているのです。今は一人一台のタブレットがあるので、画像を見て描いたらいいのですが、保存しておいてもらいたいほどによく描けていました。



三年生の教室に行くと、全員がテレビ画面を見つめていました。ある子の作文が映し出されているのです。先生と作者でこの作文を読むと、大きな拍手が起こりました。「気持ちがよく分かる」「長く書いている」「詳しく書いてあるので良く分かる」という感想が発表されました。一人一台タブレットのおかげで、この作文を全員が自分の手元で読むことができます。他の子が刺激を受けて、よりよい作文を仕上げてくれると期待します。



2月 4日(日) 立春

暦の上では本日が立春。「明日から雪」と天気予報は伝えてくれます。本日も出勤。校庭では寒い中で、朝日スターズが練習をしています。元気な声も聞こえてきます。春になったと感じることがあります。来年度のことをいろいろ準備し始めたことです。



2月 3日(土) 節分

本日は節分。仕事が溜まっている私は、朝から校長室にこもりました。校庭ではサッカーの練習が元気に行われています。昔は節分の日になると、あちこちから「鬼は外、福はうち」という声が聞こえてきたものです。最近は学校からもこの声はなくなりました。鬼は外、福はうち。家庭で豆まきをしている子は、今どれくらいいるのでしょうか。



2月 2日(金) 事故・勝った!・ライト

三年生がおもしろい議論をしていました。昔の入間市と今の入間市の写真を見て気づいたことを話し合う活動です。あるグループでは、「事故が増えたか、減ったか」の議論をしていたのです。「昔は横断歩道もないし、歩道橋もないから、事故が多かったはず」「いや、そもそも車が少ないんだから事故はない」「オートバイと人の事故はあったと思う」「人が少ないから事故も少なかったんじゃないか」……。クラス全体で議論する価値のある疑問が生まれていました。



一年生が音楽で「おちゃらか」を取り扱っていました。この曲は、歌っている途中でじゃんけんをします。その結果により「おちゃらか勝ったよ・・・」と歌うか、「おちゃらか負けたよ・・・」と歌うかが変わってきます。しかし、このじゃんけんの結果で大盛り上がりになってしまい、



歌が先に進みません。先生も困ってしまいました。それくらい、一年生は歌を楽しんでいるのでしょう。

四年生がある物を大事そうに持って、図書室に歩いて行くのを見つけました。「何かある」と思い、ついていくと、図工で完成させた作品を机の上に置きました。そして明かりをつけました。電気を消すと、何ときれいな作品ばかり。自分だけでなく、友達の作品も記録に撮っておこうと写真撮影が始まりました。子供たちの思い出の瞬間になったと思います。心が豊かになる場面でした。



2月 1日（木）消防署・かるた・睡眠

消防署見学に行った三年生が、たくさんの動画を見せてくれました。救急車が緊急発動した場面、地震体験をした場面の2つです。子どもによってアングルが違うようなので、のべ20以上の動画を見せてもらえました。「私のも見て」と言われれば断る理由はありません。救急車が、16号に出て行くところ、何度も何度も見るようになりました。



三年生の教室に、国語で作ったかるたが貼ってありました。読み札と絵札をセットで作ったようです。同じ漢字を使うのが条件です。この教室で、私が一番気に入ったのは「八等分 みんなで等しく 分けましょう」です。わり算の学習を生かしていること、八等分の絵をコンパスを使って書いていること、ケーキを八等分するという生活に根ざしていることです。算数が生活に役立つことを、国語の授業で表現してくれた、素晴らしい札だと思います。



五年生が算数で、睡眠時間について調べていました。2つのクラスのデータをグラフにして比較する活動です。子供たちが収集したデータの中で気になる結果を見つけました。就寝時刻12時以降の子が、各クラス4人、5人いたことです。学習中の子に「これ、遅いね」と声をかけると、「この中の一人は私です」と正直に言ってくれました。「眠くないの?」と聞くと「大丈夫です」と答えてく



れましたが、もう少し早く寝て下さいとお願いしました。